

須賀連合町会総会案内

須賀連合町会の活動は6年を経過しました。この間、法人格の取得や地域活動を通じて、三町会の一体化を進めてまいりました。平成30年度の事業内容の報告、ならびに31年度の事業計画の説明のために、定期総会を下記の通り開催いたします。

日時：令和元年5月26日（日）午後2時～ 会場：須賀会館

※なお、出席できない方は、昨年と同様に事前に行う回覧用紙の委任状に記名捺印をお願いします。

平成30年度概要報告

平成30年度は、地域の一体事業としての盆踊り・秋祭りを盛況に実施でき、6月には、三町会合同の防災訓練を実施しました。地域情報誌「すが」を年2回発行いたしました。

主な事業

- 1.防災訓練 6月2日(日)
- 2.盆踊り 7月29日(日)
- 3.秋祭り 10月13日(土)～14日(日)
- 4.歳末警戒 12月26日(木)～30日(月)
- 5.情報誌すが 4月・9月

平成31年度計画概要(案)

住みよい・安全・安心の町づくりのために、三町会の活動の連携化を図り、「オール須賀」の一体化と魅力ある町づくりの活動を進めてまいります。

主な事業

- 1.盆踊り 7月28日(日)
- 2.防災訓練 9月8日(日)
- 3.秋祭り 10月12日(土)～13日(日)
- 4.歳末警戒 12月26日(木)～30日(月)
- 5.情報誌すが 4月・9月

平成30年度会計報告

単位(円)

収入の部		支出の部	
前期繰越金	540,425	助成金・祝儀等	430,000
		盆踊り負担金	60,000
町会分担金合計	598,600	盆踊り近隣祝儀	30,000
須賀東町会	230,700	秋祭り負担金	150,000
須賀西町会	215,400	消防団助成金	130,000
須賀台町会	152,500	歳末特別警戒寸志	20,000
		出初め式祝儀	30,000
		神宮寺運営管理会費	10,000
		資産管理費	1,050
預金利息	9	備品・消耗品等	4,264
関西電力敷地利	4,500	設備、備品代	640
その他・寄付・志	20,000	文具事務用品代	3,624
		印刷費	0
		会議費等	9,565
		研修・会議費	6,065
		交通費	3,500
		情報誌・年2回	100,000
		租税公課	0
		その他(開所式祝儀)	10,000
		(支出計)	554,879
(収入計)	623,109	次年度繰越金	608,655
合計	1,163,534	合計	1,163,534

平成31年度予算計画(案)

単位(円)

収入の部		支出の部	
前期繰越金	608,655	助成金・祝儀等	430,000
		盆踊り負担金	60,000
町会分担金合計	596,800	盆踊り近隣祝儀	30,000
須賀東町会	229,200	秋祭り負担金	150,000
須賀西町会	215,100	消防団助成金	130,000
須賀台町会	152,500	歳末特別警戒寸志	20,000
		出初め式祝儀	30,000
		神宮寺運営管理会費	10,000
		資産管理費	50,000
預金利息	5	備品・消耗品等	15,000
		設備、備品代	5,000
		文具事務用品代	5,000
		印刷費	5,000
		会議費等	10,000
		研修・会議費	5,000
		交通費	5,000
		情報誌・年2回	100,000
		租税公課	5,000
		その他・予備費	20,000
		(支出計)	630,000
(収入計)	596,805	次年度繰越金	575,460
合計	1,205,460	合計	1,205,460

情報誌「すが」の編集委員を募集しています

情報誌も7号の発刊を迎え、事業として定着してきました。今後幅広いニーズに対応する誌面構成を図るため新しい編集委員を募っています。お気軽に参加していただくと幸いです。話題のご提供もお待ちしております。



【編集委員スタッフ】

編集長：井上利夫 発行責任者：田中義記

編集委員：奥井正孝・北野登巳郎・

阪井ひとみ・谷口均・松永勉

(敬称略・五十音順)

お断り 須賀連合町会の総会は5月開催日のために新元号の表記とし、次年度の事業・予算案(平成31年4月1日付)は「平成」と表記しています。他の部分でも年号等の表記ミスがある可能性もありますがご容赦願います。

情報誌



須賀

発行

平成31年4月20日
須賀連合町会事務局
編集責任者 井上利夫
発行責任 田中義記
須賀2丁目10-30
TEL:29-4686

須賀町 住民数 2,735人
3月現在 世帯数 1,276世帯

三町会長あいさつ

須賀東

須賀東町会長：田中義記
TEL：090-0000-0000

今迄の町会役員が築いてこられた財産を継承して新役員全員で町会運営をしていきます
防犯・防災には特にニーズが高く重点的に取り組みたいと思います。まず街灯のLED化を優先していきます。

須賀三町関連団体の新体制(変更のあった団体のみ)

須賀消防団 団長(第15分団副団長) 澤田昌巳(須賀東町会在住)

この度、田中団長の後を受けて担当いたします。防災ニーズの高まりとともに、私達団員も住民の方々の安心・安全な日々を過ごせるよう努力してまいりますので、皆様方のご協力ご支援をよろしくお願いします。

須賀祭礼運営委員会 会長 南直樹(須賀西町会在住)

このたび、平成31年度祭礼運営委員長に就任いたしました南直樹です。前北野委員長の後任として、須賀町の盆踊り、秋祭りを更に盛り上げるよう微力ながら尽力いたします。須賀三町会の皆様には、なにとぞ引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。なお、本年度の錦織神社秋祭りにおいては、須賀町は、「じんばい」「でんでこ」の当番となっておりますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

*でんでこ：稚児が神輿に乗って、秋の実りと、村の安泰を願い太鼓を打つ神事、9年に一度須賀の番

*じんばい：秋祭りの奉納神事のお手伝いをする村の順番、3年に一度奉仕する

連合町会あいさつ

平成30年の世相を表す漢字には、「災」が選ばれました。まさに、災害に見舞われた1年でした。大阪北部地震・台風21号の被害は、日頃災害の少ないと思われていた大阪を直撃しました。特に、台風21号では屋根等家屋の損壊が多く、被害に遭われた方々にお見舞い申し上げます。新元号元年は、平穏な年であることを願っています。連合町会として、今年も防災訓練を予定しています。皆様方も日頃から防災意識を心掛けていただきたいと思います。

須賀町内には約500余の防犯灯があります。昼間はあまり気が付きませんが、夜暗くなると頼りになり、助けられるものです。連合町会では、昨年10月会議を開き3町会共有の課題として調整協議をしました。防犯灯は居住地域に止まらず、どこへ出かけてもその地域の防犯灯の助けを借りています。防犯灯に関心をもって見守りましょう。

また、現在消防団車庫の建て替えの案件が検討されています。市内には、17の消防団があり、順次、安全性適合の物件に見直しを図られてきました。15分団(須賀・伏山)も消防署から建て替えの提案があります。今後計画が具体化していけばお知らせします。消防団は、昔から存在する公的な団体です。須賀分団では現在10名の団員(伏山分団は11名の団員)が日夜地域の警備災害時の出動に薫陶されています。



須賀西

須賀西町会長：北浦博美
TEL：090-0000-0000

西町会は安全で安心な町づくりを motto に会員皆さんの要望に沿いつつ町会運営を推進します。
40代50代の現役世代が、役員として活躍できるよう町会運営のスリム化に取り組みます。

須賀台

須賀台町会長：林武夫
TEL090-0000-0000

須賀台町会の活動は、主に須賀台会館を拠点として、「安心して暮らせる地域づくり」を目指しています。各種行事に、福祉委員会、環境委員会、班部会等の協力を得て取り組んでいます。

須賀青年会 会長 重松勝(須賀台町会在住)

須賀の皆様「良い祭りやった」と思っていたかのように、春から10月にかけて青年会一同準備を行い、盆踊り・秋祭り本番に備えます。皆様方に「楽しい時間」を過ごしていただけるよう全力で取り組みます。

須賀子ども会 代表 寺阪育代(須賀東町会在住)

子どもたちと地域をつなぐお手伝いできればと思っていますのでよろしくお願いいたします。

須賀西子ども会 代表 副島真由子(須賀西町会在住)

「明るく、楽しく！」を motto に、子どもたちの楽しい思い出になる活動ができるように頑張ります。宜しくお願いします。

須賀台地区 民生児童委員 交替

有富哲碩さんから山崎和子さんに交替

「須賀地車 新調10周年記念誌」の紹介



須賀地車は百年以上におよぶ伝統文化の歴史があります。当時、須賀の神社（菅原神社）が錦織神社へ合祀（明治41年）されたのち、同神社へ宮入したことが、近隣（河内長野、錦織）の郷土文化資料で紹介されています。

現在の地車は平成20年に新調され10周年を迎えました。須賀地車保存会ではこれを機に記念誌を発刊しました。A4サイズ誌で138頁にわたって文書、表物やカラー写真等で詳しく説明しています。すでに記念誌を読まれた方もおられる

と思いますが、改めて誌面で紹介します。

須賀に地車を迎え入れてからの記録や地車新調の経緯と完成までの経過、秋祭りの地車に携わった方々の思い出話もあり、「地車を曳行できなかったとき、リヤカーに太鼓を乗せて町内を回った」エピソードも。「地車IN大阪城2017」行事に参加したことや10周年記念式典なども紹介しています。さらに地車年表、錦織神社の沿革や行事説明、昔の須賀家屋略図もあり、歴史が分かりやすくまとめられています。

<主な内容>

- ・関係者の回想
- ・青年団員集合写真（昭和22年）
- ・法被・奉納俄・お稚児さん・子どもタイムの変遷
- ・昭和大修理（昭和60年）
- ・新調地車の企画・経緯・経過（平成17～20年）
- ・新調地車入魂式・お披露目曳行・神社初宮入
- ・初代だんじり柏原市国分市場町へ売却（平成20年）
- ・5周年記念行事（平成26年）
- ・10周年記念地車IN大阪城パレード、締め直し（平成29年）
- ・10周年記念式典/9入魂式・お披露目曳行（平成30年）
- ・錦織神社の沿革
- ・祭礼・町会関係者年鑑
- ・昔の須賀町住居地図（大正5年頃）



この記念誌の連絡、問い合わせ先は
 須賀地車保存会
 記念誌編集委員会
 代表 北浦幸一氏まで
 080-0000-0000

須賀物語・須賀のお地藏さん

地藏菩薩



お地藏さんと呼ばれる地藏菩薩は「人々の悩み苦しみを救ってくれる菩薩として古くから奉られてきた。特に、幼くして亡くなった子ども（賽の河原で苦しんでいる子ども）を救う菩薩として信仰された。道ばたによく見受ける地藏さんは日本の古くからの道祖神の信仰と融合し、地域の分かれ目で道行く人々を見守ってくれると信じられている。

地藏盆

神宮寺の地藏尊と延命地藏尊はそれぞれの世話人による保存会によって維持され、毎年8月23日に町会の協賛を得て、子どもの健やかな成長を願う「地藏盆」を行っている。地藏盆では子どもの名前を書いた提灯が飾られ、菓子などたくさんの品が供えられる。お供えものは法要の後、供えた方や子どもさんに配られる。事前に申し込めば新規の提灯は保存会で世話している。



須賀町のお地藏さん

1. 錦郡新田地蔵尊（神宮寺境内）



浦西徹画

舟型の光背をもち、右手に錫杖、左手に宝珠を持っている。表には主字「カ」、両面に「三界万霊」「廻向佛道」と刻まれている。背面には「享保九年二月八日（1724）」「河州錦郡新田村神の宮寺」とあり、新田開発の後、村の守り地藏として「神宮寺」の創設と同時に安置されたと考えられる。大きなお姿のこの地藏さんは近隣では数少ない地藏尊となっている。現在、神宮寺地藏尊保存会が毎年8月23日に須賀東町会の協賛を得て、お祀りを行っている。

3. 延命地藏尊（須賀3丁目8番の東角）



この延命地藏尊は昭和50年8月に地域の子どものお守り地藏として、当時の西町会の役員が発起人になり12名の世話人で建立された。現在が世話人と須賀西町会協賛を得て8月23日にお祀りを行なって入る

2. 雷地藏尊（ウエルシア西北角）



雷地藏尊には表に「釋智了」とあり、側面に「明治九年六月二十日」と刻まれている。毎年8軒の近隣縁者で7月20日にお祀りを行っている。世話人によれば児童が雷に打たれ亡くなったので、当時の近隣（現在の東町会8組）の方々がお悔やみと今後事故が起こらないことを祈って奉ったと伝わっている。

4. 六地藏尊（須賀墓地の地藏尊）



六地藏尊が現世と来世の境（入口）で六道の修行を助けてくれるという意味から墓地の入口に奉られている。